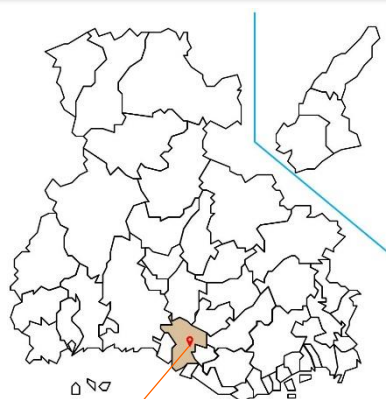
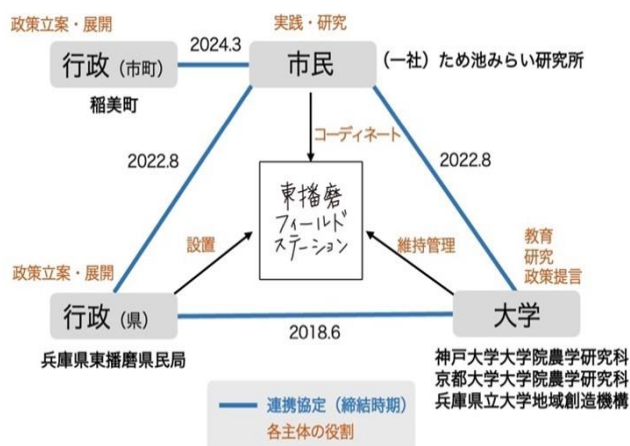


学生・若者の活躍

農村環境景観保全



加古川市



公民学連携の構造

概要

- ・2021年、市民が中心となった連携活動をコーディネートする「市民研究所」を設立。ため池を含む農村資源の持続的管理・活用に向けた新たな官民学連携の仕組みづくりを行っている。
- ・大学生と地域との協働活動「ため池アクション」など地域との交流プログラムの実施や「畦やため池堤体の草刈りの継続実施に向けた仕組みづくりプロジェクト」など地域の課題解決に向けた研究・実践プロジェクトに取り組んでいる。



ため池アクションのひとつコマ



草刈りフェスの様子

成果

- ・ため池アクションでは「国産コットンの生産と地域ブランド創造」や「農村版ワーキングホリデー制度の創造」等を行い、プログラム終了後も学生が実践活動を継続するなど、大学教育と地域の課題解決によりWin(学)-Win(地域)-Win(行政)の成果を得た。
- ・草刈りプロジェクトでは、グループでの草刈りの実施件数が88軒にも及び、農村の維持・発展と関係人口の創出につながる新規性のある取組となった。